

# 公開実用 昭和63-191795

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-191795

⑭ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和63年(1988)12月9日

H 04 R 1/02

1 0 3

A-7314-5D

A 44 C 25/00

A-8307-3B

H 04 R 1/10

1 0 4

C-7314-5D

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 装身兼用ヘッドホン

⑰ 実 願 昭62-80490

⑰ 出 願 昭62(1987)5月27日

⑱ 考 案 者 三 田 知 治 東京都府中市若松町3丁目30番33号

⑲ 出 願 人 三 田 知 治 東京都府中市若松町3丁目30番33号



## 明 細 書

1. 考案の名称 装身兼用ヘッドホン
2. 実用新案登録請求の範囲

コード(1)にビーズ玉等の装身用小物(2)をその中心軸に空けられた取付用穴(3)を介し複数個連続的に取り付けた装身兼用ヘッドホン。

3. 考案の詳細な説明

この考案はコードにビーズ玉等の装身用小物を取り付けた装身兼用ヘッドホンに関するものである。

従来ヘッドホンにおいて、本体は小さく軽くなりヘッドバンドの無い製品もあり、コードに関しても細く改良されている。

しかし、使用にあたつてはこのコードがからまつたりする等して取扱いに大変不便でありながら取り外すこともできず、邪魔であつた。

本案は以上のような欠点を改良し、欠点を利点に転換するために考案されたもので、これを図面について説明すれば、コード(1)にビーズ玉等の装身用小物(2)をその中心軸に空けられた取付用穴(3)





を介し、複数個連続的に取付ける。

本案は以上の構造であるから、使用方法は従来の製品と変りない。しかし使用にあたってその効果は、従来の製品とはまったく違つたものとなり、あたかもネックレス等と見間違ふほどファッションブルで、装飾性に優れたものとなる。さらに小物(3)についてその素材に様々な材質、形、色のものを選択することが可能であり、これらの組合せにより、一つひとつ異なつた個性を持つた製品を作り出すことができる。これは、多様化、個性化を追い求める現代の消費者ニーズに十分応えられるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図、本考案の正面図

第2図、本考案の一部断面にした要部拡大図

(1)コード

(2)装身用小物

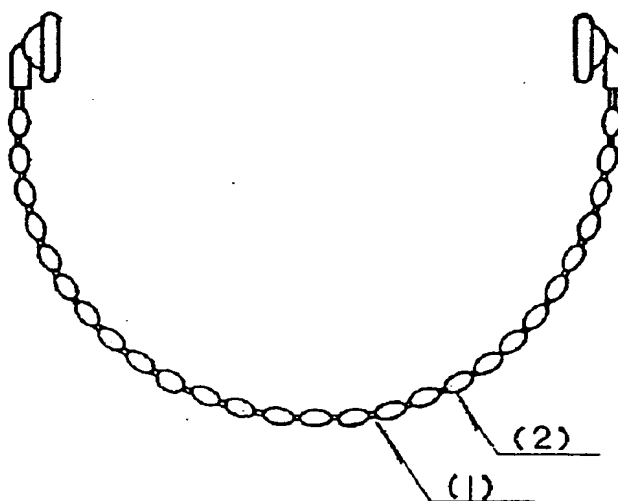
(3)装身用小物取付穴



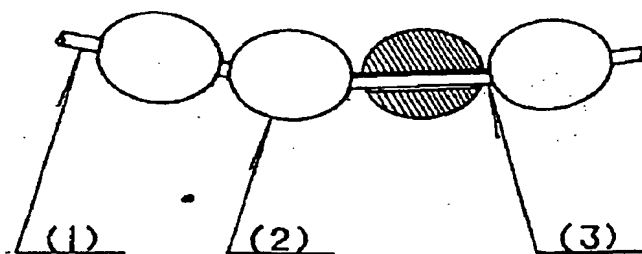
実用新案登録出願人 三 田 知 治



第 1 図



第 2 図



1079

實用新案登録出願人 三田 知治  
実開 63-191795

